

経営比較分析表（令和2年度決算）

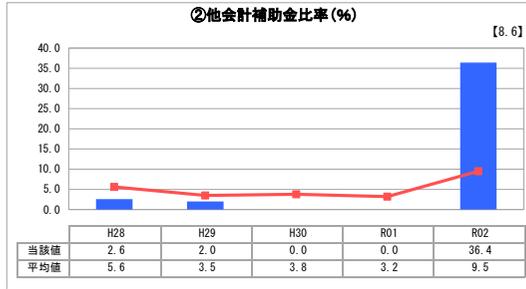
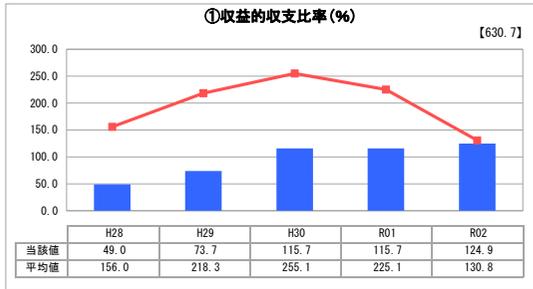
神奈川県相模原市 相模原駅自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	24	

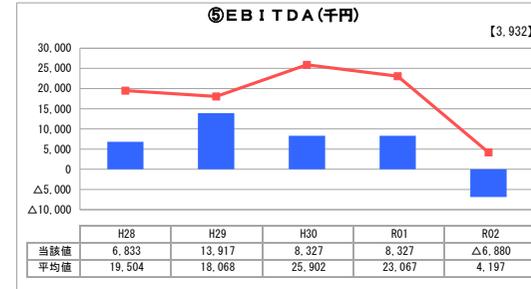
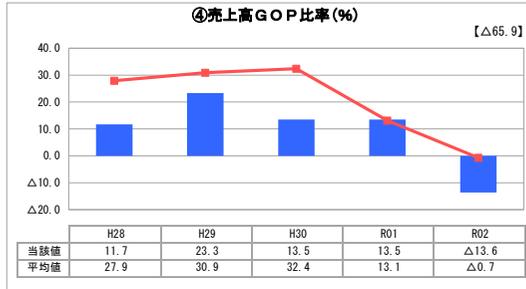
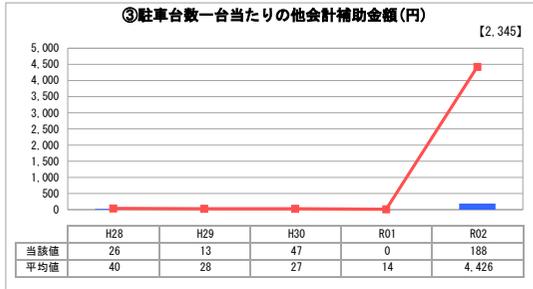
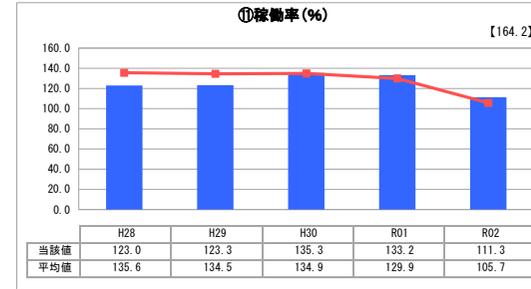
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	10,027
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
283	300	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



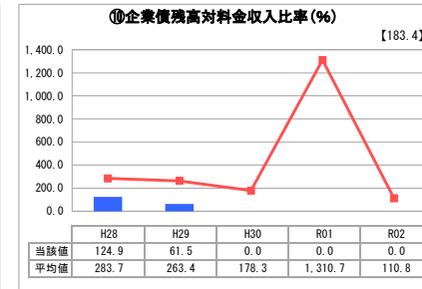
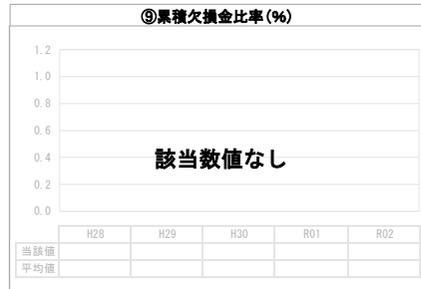
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	0
⑧設備投資見込額(千円)	0



分析欄

1. 収益等の状況について
 本駐車場は、通行量が多い地区で円滑な道路交通を確保するため、平成9年4月より供用開始しました。
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は、平成30年度以降は黒字となっておりますが、これは駐車場建設費の償還が終了したことが大きな要因となっております。
 本駐車場の建設費償還は平成30年度に完了しており、これまで他会計補助金比率はゼロでしたが、令和2年度はスロープを修繕したため、一般会計から繰り入れることとなりました。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は完了しておりますが、老朽化が進んでおり、今後は設備投資を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 稼働率は減少いたしましたことから、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、外出を取りやめる、買物等を短時間で済ませる、テレワークに変わるなど、利用状況に変化があったためと考えています。

全体総括
 相模原駐車場整備地区内唯一の都市計画駐車場であり、一定数の利用があることから、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。ただし、稼働率が減少していることを鑑み、運営方法等については検討をしていきます。